

社会貢献から始まる大人への一歩 12/29

～新成人の募金活動～

今年、成人式を迎えた新成人が、社会参加の第一歩として赤い羽根共同募金を行いました。青年の大きな掛け声に立ち止まってくださる方も多く、26,177円が集まりました。

1月13日の成人式には569人の新成人が参加し、代表の誓いの言葉を真剣な面持ちで聞きながら、決意を新たにしていました。また、新旭地域の新成人からは、茶話会の会費から31,800円が高島市社会福祉協議会に寄付されました。(青少年課)



手作り「健康カルタ」で楽しく食育！ 1/27

「色の濃い 野菜をもっと 食べよう」

「寒くても 外で遊ぶよ 雪遊び」

安曇川町内の小中学生による「健康標語」をもとに作ったカルタで、食育学習を行いました。

参加した安曇川町サッカースポーツ少年団の子どもたちは、みんな元気よく絵札に飛び込んでいました。遊びながら健康な生活について楽しく学びました。

(高島市健康推進員協議会安曇川支部)



ふるさと絵屏風に「おおきに大賞！」

～沖田条里語り部会～

1月27日に開かれた「湖国まるごとエコ・ミュージアム」づくり第3回たたえあう交流会で、県下41団体の中から「沖田条里語り部会（安曇川町沖田地区）」が最優秀賞にあたる「おおきに大賞」を受賞されました。

ふるさと絵屏風の作成や、それを利用し自然と関わりながら暮らしてきた生活の伝承など同会の活動が大きく評価されました。

今回の受賞で、市内でのまちづくりの取り組みが県下でも高い評価を得られるという証となりました。(自治協働課)



写真館 まちなタ

あんなできごと、こんな人。まちで起こったホットなニュースを紹介しします。ニユースは皆さんから大募集!!



あなたのとびつきりを紹介してください。

また、大通りと交差して上下に伸びる通りも、江若鉄道を使って行き来する人で賑わい、白鬚神社の祭りの頃にはたいへん込み合い、饅頭や果物などがたくさん売れたそうです。安曇駅（下部中央）周辺には朽木などへ向かうバスが並び、線路を走る江若鉄道の車両の音が聞こえてきたそうです。



▲語り・南市区民有志 画・山本功次氏・松原圭子氏

NPO法人湖西生涯学習まちづくり研究会どろんこ所蔵

シリーズ わさの郷 第二十巻

絵屏風のふるさと巡り⑩

ふるさと南市絵屏風

金助成事業により製作されました。高島郡（現在は市）の中でも商売が盛んな南市は、高島商人の発祥の地ともいわれ、絵図上部を左右に横断している大通りは、現在の県道小浜朽木高島線として現在も主要道として重要な路線に位置付けられています。銀行や旅館・商店・医院・役場・郵便局などが立ち並び、多くの人で賑わっていました。かつてはこの通りも「まち割り」の水路があったようですが、絵図には商売が盛んで埋め立てられた後の姿が描かれています。

（注）地域に暮らす人々が、日々の生活体験の積み重ねを通じて育んでこられたふるさとの思い出やイメージを集約して、絵画によって表現したもの。当時の風俗や街並みを正確に復元することを目的としたものではなく、人の印象に合わせて変形・誇張されている部分があります。

※次回「おおきに大賞」を受賞した沖田区をご紹介します。

響き渡る歌声 響き合う心 2/9

昨年11月から、藤樹の里文化芸術会館で取り組んできたゴスペル講習会。その受講生50人が、2月9日（土）のバレンタインゴスペルコンサートで初舞台を踏みました。初心者とは思えない完成度の高さと、京都のグループとの総勢100人による迫力のステージに、観客は魅了されていました。



駅前も 心もきれいで 犯罪減 2/2

自主防犯活動団体レイクウエストパトロール・高島警察署・高島市防犯自治会によって、JR新旭駅高架下の清掃活動が行われ、植ええられた色とりどりのパンジーがキレイな花を咲かせています。

以前は高架下にたくさんの自転車が駐輪され、盗難などの犯罪が後を絶ちませんでしたが、駅前の美化により犯罪は確実に減少しています。

自転車やバイクは必ず決められた駐輪場内に駐輪するようにしましょう。(総合防災課)